



大 蔵 司

「チャパン、デーリー、ヘラルド」新聞抄譯

銀圓流通ニ關セル利害ヲ論ス

508



114
A3085



新聞抄譯

銀圓流通ニ関セル利害ヲ論ス

今日俄カニ銀圓流通ノ事マルニ遇フ余輩豈其諸開港地及々内地ノ貿易上ニ影響ヲ及ホスベキ利害ヲ論セズシテ可ナラン乎然リト云モ之ヲ論スルノ前先ッ余輩ハ日本政府が此事ヲ実施スルニ方リ一百五拾万乃至貳百万ノ圓銀ヲ紙幣及々其他ノ抵當品引代ニ内外ノ銀行ニ配托セント欲ストノ風説ハ妄誤ニアラズト認定セザルベカラス借此風説ヲシテ果シテ信ナラシメバ銀圓ノ流通ヨリ生スル利ハ弊畧左ノ如クナルベシ則チ内国人ハ輸入貿易上ニ使用スル十分ノ貨幣ヲ有スレバ其紙幣ヲ以テ容易ニ之ト交換スルヲ得ベキガ故ニ向後ハ外國人トノ約

大正十一年四月贈

大隈侯爵郵寄贈

定ヲ違背スル等ノ患ナカルベシ又發行貨幣銀圓^{銀圓}及貯藏貨幣ノ供給夥多ナルヲ以テ政府ハ紙幣相庭ヲ確定シ本年中實驗セシ如キ非常ノ浮沈ヲ今後ニ再現セザラシメ從テ紙幣ノ價格一層信憑ヲ増スヨリ今後ハ内國人ヲシテ外國人ト約定ヲ為スニ方リ一層ノ便利ヲ得セシムベシ又之ト時ヲ同フシテ流通上ヨリ引揚ラルベキ紙幣ノ同額ニ對シ横濱ニ於テ營業スル内國銀行ノ兌換証券流通ノ額ヲ加フルニ至ルベシ又余輩ガ見聞シ得ル所ニテハ右銀圓流通ニ就テノ害ハ左ノ如クナルベシ

第一 極メテ為換相庭下落スベシ

第二 甲貨指^{甲貨指}假令^{假令}同一ノ實價ヲ含蓄スルニ望^望廣ク海外ノ市場

ニ於テ同一ナル流通ノ便利ヲ有セザル^{乙貨}均一^{均一}通用^{通用}ヲラシムベシ

第三 紙幣ノ價格騰貴スル片ハ輸出品ヲ買收スルニ一層困難ナルベシ

蓋シ最後條ノ要点ナル輸出品ノ價直其本國ノ相庭ニ由テ左右セラル、ヲ以テ為換相庭及々其他変差ノ速カニ自然ノ調整ニ從テ所ノ貿易上ニ著ルシキ關係ヲ為サザルヲニ就テハ業已ニ商法會議所ヨリ數回ノ報告アリテ頗ル明亮ナレバ余輩復之ヲ爰ニ贅セザルナリ

余輩以為テ談貨幣^{談貨幣}輸出ノ為メニ墨銀同一ノ便利ヲ有セザル^{然リ}而ノ銀行ニ關係アル巨多ノ貸借及々請込上ノ得失ヲ考フルニ殊ニ貨幣仕拂ノ^{一ニ}就テハ銀行ヲ以テ實際一般商民ニ對シ負債者ノ地位ニ居ルト認シヨリハ寧口債主ノ地位ニ居ルト認ルヲ至當トス故ニ銀行ニシテ若シ墨銀ヲ以テ約定セル負債ニ代ヘ銀圓ヲ納受ス

ルヲ肯スルニ於テハ銀行ニ對セル負債者ハ誰一人ダモ決シ
テ銀圓流通ノ一ニ付キ故障ヲ鳴サバ、ルベシ且又銀行ハ政府ト
内約定ノ他ニ屬スル其輸出スベキ若干ノ殘金ト現有ノ負債ニ
向ヒ墨銀ノ準備ヲ保貯セザルヲ得ザルトヨリシテ些少ノ損失
ヲ被ムラザルヲ得ザルヲアルモ之ヲ甘受スルナルベシト余輩
ハ信セリ

蓋シ外國人等ガ銀行ニ托セル貨幣ヲ引出スニハ重モニ為換ノ
相庭ヲ以テス故ニ銀圓收受ノ為換相庭上ニ及ボスベキ成跡如
何ニ就テ熟考スルハ此ニ最モ緊要欠クベカラザルノ事トスル
ナリ

若シ夫レ大隈君ガ其貯藏銀圓貳百万ヲ墨銀ト交換シ而シテ
墨銀市場ニ出シタランニハ輸入貿易上此兩貨成跡尙ト及
出シ而シテ紙幣正金交換ノ差額ト立金ト割額ト減大ルニ至
ナリ

ノ或ル地方 積蓄ヲ指シテ交換相庭ニ下落ヲ來タスハ期シテ待ツベシ

此段ノ旨趣稍明ク似たり再考

ト云々斯ノ如クナルヲ以テ銀圓ニ墨銀ト向額ニ程市増ニ出シテ併
實ニ市場ニ結トシテ以テ銀圓ニ其貯蓄ヲ蒙ラレム

固ヨリ我英金ノ為換相庭ハ時々印度支那ノ相庭ト共ニ高低アリ
因テ我英金ノ相庭ノ高低日本支那間ノ相庭ニ關係ヲ有スル
ヤ言ヲ俟タス然ルニ既ニ聖嘉坡、香港及ヒ支那南部ノ諸港ニ於
テ銀圓流通シ且ツ上海ニ於テ否銀ニ熔解ヤシ上七ニト四分ノ
一ノ相庭ヲ保ツヲ察スレバ近隣諸邦ニ使用スル我ガ銀弗ノ
相庭ト比較シ此上尚ホ大ニ其割合ヲ減落スベキ餘裕アルヲ見
ザルナリ却テ令ヤ大隈君ガ只管銀圓ニ心ヲ傾ケタルヲ以テ日
本ニ於テ決然金貨流通ノ念ヲ断テ而カモ其貯蓄ノ金ヲ以テ我
ガ外國為換相庭ノ真粹ノ支配者タル銀ノ買入トナルベシト余
輩ハ信スルニ因リ日本政府ガ此ノ策ヲ實施スルニ方リ銀行モ
亦將ニ總テ銀相庭ヲ騰昂セシムルノ策ヲ回ラサントスト考

定スルヲ得ベキナリ

余輩ハ讀者ニ向ヒ該問題ニ就キ明亮ナル意見ヲ呈セント欲ス
ルヲ以テ此变革ノ日本政府ノ財政上ニ及ボス所ノ影響ニ就テ
論スルガ如キハ趣意錯雜ノ恐レアレバ勉メテ之ヲ此論場中ニ
聞入セシメザリシナリ尤モ日本財政上ニ及ボス所ノ影響ニ就

テハ他日ヲ俟テ別ニ之ヲ論議セント欲スルナリ

又余輩ガ銀回ノ良否ニ論嘴ヲ入レザルモノハ此点ニ就テハ前

ニ屢シ論議アリテ竟ニ日本造幣局ノ完全タルニ論局ヲ結ヒタ

リト考定スレバナリ此比「ガゼット」新聞紙上香港及ヒ聖嘉坡ニ

於テハ品位卑キ日本補助貨幣氾溢シタリト掲載シタレト事實

ヲ探損ヤシニ此事全ク無根ノ妄説ニ出テタルノミ

